

平成25年度 指定管理者施設管理評価シート

部 教育委員会事務局 課 児童保育課

施設名称		〔42〕 東京都台東区立今戸児童館				
指定管理者の名称		社会福祉法人台東区社会福祉事業団		指定期間	H22. 4. 1 ～ H27. 3. 31	
1. 指定管理者の概要						
(1) 業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者福祉施設の管理・運営を行なう。					
(2) 類似施設の管理実績	児童館7館、15こどもクラブ（平成23年末まで13こどもクラブ）					
(3) 経営状況	（24年度決算ベース）〔社会福祉事業会計〕 収入2,803,323,166円、 支出2,629,524,402円、 収支差額173,798,764円					
2. 施設の概要						
(1) 所在地	台東区今戸1-3-6					
(2) 設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。					
(3) 利用者	区内在住の幼児から中学校終了までを主たる対象とする。					
(4) 開館日・時間	月曜日から土曜日：午前9：30～午後6：00、日曜日（第三日曜日を除く）：午前9：30～午後6：00一部開放。 休館日 年末年始、祝祭日（5月5日は開放）					
(5) 規模	RC3階建て 遊戯室・図書室・音楽室・図工室・第2遊戯室等					
(6) 人員体制	常勤職員3名、短時間職員5名					
3. 事業（サービス提供）の概要						
(1) 委託事業	①児童の福祉を目的とする事業②児童館の利用を通して児童の情操の育成に資する事業③健全な遊びを通して児童の集団的及び個別指導を行なうこと③その他、児童館の目的達成のために必要な事業					
(2) 自主事業	自主事業は行っていない					
4. 予算決算の推移						
		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
予算	委託料	43,997,000	42,627,000	42,234,000	37,736,000	38,954,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	43,997,000	42,627,000	42,234,000	37,736,000	38,954,000
決算	委託料	39,373,360	40,773,160	38,709,249	38,739,431	38,143,393
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	39,373,360	40,773,160	38,709,249	38,739,431	38,143,393
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等（活動指標）						
指標名称		単位	21年度	22年度	23年度	24年度
開館日数		日	333	334	335	334
6. 成果指標						
指標名称		単位	目標値 (26年度)	22年度	23年度	24年度
利用者数		人	22,000	21,770	16,304	19,741

7. 平成24年度評価結果に対する現在までの取組み				
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の意見や要望について速やかに応え、来館時や帰宅時に職員から声を掛け、信頼関係を築いた。 ・子ども企画や児童館祭りなどの行事をきっかけに自主性・主体性の育成に努め、子ども同志の繋がりを増やした。 				
8. 評価項目				
		3：協定等の水準を上回っている。 2：協定等の水準どおりである。 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。	0：協定等の水準を下回っている。 -：評価対象外項目。	
評価の観点	評価項目			
(1) 事業の運営 平均 [2.1]	(a) 施設の目的達成 (b) サービス水準 (c) 職員配置 (d) 職員研修 (e) 案内・接遇	[2] [2] [2] [2] [2]	(f) 開館時間等の遵守 (g) 自主事業の成果 (h) 個人情報保護 (i) 緊急時対応 (j) 警備・防犯体制	[2] [-] [2] [3] [2]
(2) 施設の維持管理 平均 [2.0]	(a) 建物保守・設備機器点検 (b) 備品の管理 (c) 清掃・衛生管理 (d) 施設の修繕	[2] [2] [2] [2]	(e) 危険箇所等の確認 (f) 管理記録の作成・保存 (g) 業務委託の事前承認 (h) 省エネ・省資源・環境配慮	[2] [2] [2] [2]
(3) 利用者の満足度 平均 [2.0]	(a) 利用者・第三者機関の評価 (b) 苦情・要望への対応と報告 (c) 利用者数の目標達成	[2] [2] [2]	(d) 利用しやすい環境整備 (e) 関係団体・地域との関わり	[2] [2]
(4) 収入支出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行 (b) 経費削減のための取組み	[2] [2]	(c) 収支計画の達成 (d) 利用料等の徴収・管理	[2] [2]
9. 評価				
S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。				
評価の観点	評価	説明		
(1) 事業の運営	A	保健所の育児相談や幼稚園児対象プログラムの実施、図書室の図書の貸し出しの簡素化などにより継続的な利用が拡大した。また、緊急時対応の避難訓練等を定期的に行い、災害時の備蓄も行っている。		
(2) 施設の維持管理	A	安全・安心な快適な環境づくりに努めた。施設や遊具の点検を徹底し、必要に応じて修繕を行い、清掃にも気を遣った。		
(3) 利用者の満足度	A	遊戯室の改修工事があり、利用者にとっては不便になった期間があったが、アンケート結果を基に活動内容を検討し要望に沿った活動や環境整備に努めた。また、児童館祭りや行事に地域の方を招待するなど地域との関係づくりを大切にしている。		
(4) 収入支出	A	消耗品の一括購入、複数年の契約などにより経費節減・事務の効率化を図っている。		
10. 総合評価				
		良好 妥当 要努力 要改善 不適		
		妥当	保護者や児童の要望を受け止め、できることはすぐに対応し、事業内容の充実と情報発信の強化を行い、利用者を拡大した。また、地域と共に子ども達を育てるため、行事の実施では、地域との繋がりを大切にし協力関係を継続させている。	
11. 平成25年度評価結果に対する今後の対応				
<ul style="list-style-type: none"> ・中高生タイムを実施している児童館であるため、安全に安心して過ごせる地域の居場所として、乳幼児から中高生までがお互いの成長を感じ合い高めて行ける事業展開を行う。 ・利用者の要望を受け止め、ニーズに合った事業運営を行い、サービスの質の向上を図る。 ・事業の継続を図りながら、地域との関係を深め、新たな事業にも取り組む。 				